

令和7年度（10月実施）
筑波大学大学院人間総合科学学術院
人間総合科学研究群博士前期課程
教育学学位プログラム
教育基礎科学サブプログラム
入学試験問題

専門科目

【共通問題】

【分野別問題】

【解答方法】

専門科目の問題には【共通問題】と【分野別問題】があります。

■【共通問題】はすべての受験者が解答してください。

■【分野別問題】については、「教育哲学」「生涯学習・社会教育学」「教育社会学」「教師教育学」「教育政策学」「教育方法学」「道德教育学」「キャリア教育学」「人文科教育学」「特別活動学」の10分野のうち、志望する専門研究分野を1つ選択して解答してください。その際、解答する問題用紙に受験番号を記入し、解答用紙の（ 分野）内に、解答する分野の名称を記入してください。

令和7年度 筑波大学大学院 人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目 (共通問題)

(配点 100 点)

- 問1 2023(令和5)年6月16日、第4期教育振興基本計画が閣議決定され、これからのわが国の教育政策全体の方向性が示された。教育振興基本計画とは何か、その要点を説明した上で、第4期教育振興基本計画が示す今後の教育政策に関する基本的な方針を、二つのコンセプトをふまえて、説明しなさい。

(解答用紙の「表面」に解答を書くこと。)

(50 点)

- 問2 近年、国際的にも注目される社会情動的スキルについて、それがどのようなスキルなのか、またなぜそれを身に付けることが重要視されるのかを説明しなさい。さらに、社会情動的スキルを育むための手段について、発達段階や学習環境に言及しながら論じなさい。

(解答用紙の「裏面」に解答を書くこと。)

(50 点)

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（ 教 育 哲 学 分野）

（配点 100 点）

（著作権法に基づき削除）

左の文章は、アメリカ合衆国の教育哲学者ジェイン・ローランド・マーティン(Jane Roland Martin)によるJ. J. ルソー教育哲学批判の一部である。

文章を読み、次の二つの問題に解答しなさい。

【問題】

- (1) ルソーの教育哲学が近代教育思想史に及ぼした影響について説明した上で、マーティンによるルソー批判の要点を説明しなさい。
(40点)
- (2) 文章の最後に言及されている「教育の二元論」について、あなたはどのように考えるか。マーティンの教育哲学の核心についての説明を盛り込みながら、論じよ。
(60点)

※ 解答用紙には、解答に対応する問題番号を必ず明記すること。

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム（教育基礎科学サブプログラム）
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（生涯学習・社会教育学 分野）

（配点 100 点）

【問題】

2017（平成29）年に改正された社会教育法では、次に示すとおり、地域学校協働活動が新たに規定された。なぜこのような改正が行われたのかについて背景を説明したうえで、この改正が自治体の社会教育政策と地域の社会教育実践にどのような影響を与えるかについて具体的に論じなさい。

（著作権法に基づき削除）

注）出題に際して、一部を省略した。

令和7年度 (10月実施)・筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目 (教育社会学 分野)

(配点 100 点)

問題

文部科学省中央教育審議会(2021)の「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」では、各論の一つとして「増加する外国人児童生徒等への教育の在り方について」述べられている。その基本的な考え方として、以下のような記載がある。

(著作権法に基づき削除)

なぜ、外国人児童生徒等のアイデンティティの尊重や母語・母文化支援の必要性が指摘されるようになったのか、その背景や理由を具体的に論じなさい。

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（ 教師教育学 分野）

（配点 100 点）

次の2つの問題に答えなさい。解答用紙に記入する際は、問1と問2に分けて、日本語で記述すること。必要な場合は解答用紙の裏面を使用してもかまわない。

問1. 日本における「大学における教員養成」と「開放制の教員養成」の原則について簡潔に説明した上で、2つの原則に基づく教員養成制度の意義と問題点を記述しなさい。（配点60点）

問2. 教員の職能発達過程にみられる特徴を2つあげ、それぞれについて簡潔に説明しなさい。（配点40点）

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム（教育基礎科学サブプログラム）
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（ 教育政策学 分野）

（配点 100 点）

問 1 次の用語についてそれぞれ説明しなさい。

（1）こども基本法 （20点）

（2）NPM（New Public Management） （20点）

問 2 現代の公教育で生じている格差について、具体的な事象を取り上げ、日本の教育制度や教育政策がそうした格差にどのように関わっているか考察するとともに、格差縮小に向けた方策について論じなさい。（60点）

※解答用紙には、解答に対応する問題番号を明記すること。

※必要であれば解答用紙の裏面まで使っても構わない。

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム（教育基礎科学サブプログラム）
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（ 教育方法学 分野）

（配点 100 点）

問題

次の2つの問いの両方に答えなさい。解答用紙のはじめに、番号(1)(2)をそれぞれ記入すること。必要ならば、解答用紙の裏面も使用してよい。

(1) ヘルバルト (J.F. Herbart) の教育理論について、知るところを述べなさい。
(50点)

(2) 「総合的な学習の時間」もしくは「総合的な探究の時間」において、どのようなことを留意して実践すればよいか、具体例をあげながらその方法について論じなさい。(50点)

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（ 道徳教育学 分野）

（配点 100 点）

問 題

現代日本の公立学校においては、宗教的中立性の原則にのっとり、特定の宗派による宗教教育を行うことは禁じられている。ただし、道徳教育の指導場面においては、情操教育の一環として「畏敬の念」を取り扱うことが求められている。この点に関して、日本以外の諸外国のうち任意でひとつ、特定の国を選択し、その国の宗教教育の在り方と比較しながら、日本の公立の学校教育現場における宗教の取扱い方の特質や課題、可能性などについて、あなたの見解を自由に論じなさい。

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム（教育基礎科学サブプログラム）
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（キャリア教育学 分野）

（配点 100 点）

次の文章は令和5（2023）年6月16日に閣議決定された「教育振興基本計画」からの引用である。

（著作権法に基づき削除）

この記述を参考にしつつ、貧困にある子供たちにとってのキャリア教育の意義・必要性、及び、実践上の課題について論じなさい。その際、可能な限り、議論の基底となる理論（キャリア理論、キャリア形成理論等）を示しつつ論じること。

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（人文科教育学 分野）

（配点 100 点）

問題

言語教育のうち、国語教育、外国語教育、日本語教育のいずれか一つの研究領域を念頭に置き、「ICT」についてどのように論じられ、それについてあなたがどう考えるのかを述べなさい。なお、選んだ研究領域を必ず明記すること。

令和7年度（10月実施）筑波大学大学院人間総合科学研究群 博士前期課程
教育学学位プログラム(教育基礎科学サブプログラム)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（特別活動学 分野）

（配点 100 点）

- 問1 特別活動には、①教科外活動、②集団活動、③自主的・実践的な活動、という特質がある。これらの特質に起因する特別活動の「意義」と「リスク」について、日本語で説明しなさい。①～③に分けて、それぞれの二面性（意義とリスク）を記述すること。
（60点）
- 問2 2017（平成29）年・2018年（平成30）年に改訂された小学校・中学校・高等学校の学習指導要領では、学級活動・ホームルーム活動の内容「（3）一人一人のキャリア形成と自己実現」において、児童生徒が「活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」とされている。この「活動を記録し蓄積する教材等」をどのように活用することで、いかなる教育効果が期待できるのか、日本語で簡潔に説明しなさい。
（20点）
- 問3 特別活動の学習評価の特徴について、日本語で説明しなさい。「何」を「どのように」評価するかについて、簡潔に記述すること。
（20点）

※解答用紙への記入方法：「問1」「問2」「問3」と明記した上で、それぞれの回答を記入すること。